

2018年2月20日

風・流体工学研究センター開設記念「キックオフシンポジウム」・ 「施設開放・公開講座」を開催します！

本学はこの度、文部科学省・平成29年度私立大学研究ブランディング事業に採択され、大学の特色ある研究を基軸として大学の魅力を発信しブランド化を図る取り組みをスタートいたしました。

本学の取り組む事業名は、「高度シミュレーション技術による地域の『風』の課題解決と人材育成」です。開学以来、学内にいる国内最大級の大型風洞実験装置や数値解析技術を用いて、地域の『風』の問題に着目した研究に取り組んで参りました。このような大学独自の研究基盤を活かし、「ものづくり」から「まちづくり」までの風や流れの研究に、更に重点的に取り組む拠点として、学内に『風・流体工学研究センター』を開設することとなりました。

つきましては、同センターの開設にあわせた「キックオフシンポジウム」および「施設開放・公開講座」を開催いたします（詳細は、添付のリーフレットをご参照願います）。

年度末でお忙しいことと存じますが、事前の広報ならびに当日の取材につきまして、お願いできれば幸甚に存じます。よろしくお願いいたします。

【開催概要】詳細は、添付のリーフレットをご参照願います。

I キックオフシンポジウム

◆日時：平成30年3月23日（金） 13時30分から16時10分まで

◆会場：新潟工科大学 S1大講義室

◆内容：

1. 開会挨拶 新潟工科大学学長 大川秀雄
2. 事業説明 風・流体工学研究センター長・教授 富永禎秀
3. 基調講演 「風と私たちの社会 ～風工学のアプローチ～」
日本大学 教授 野村卓史氏（日本風工学会会長）
4. 特別講演 ①「建築・都市と風」新潟大学 教授 赤林伸一氏
②「最近の雪氷災害」国立研究開発法人防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター センター長/気象災害軽減イノベーションセンター
副センター長 上石勲氏
5. 話題提供 「小型垂直軸風車の開発を通じた地域企業との連携」
長岡技術科学大学 准教授 宮下幸雄氏
6. 施設見学 ●風洞実験室（風ラボ）：大型風洞による強風体験、流れの可視化実験、
ステレオPIV（粒子イメージ流速計測法）のデモンストレーション
●風・流体工学研究センター：流体数値シミュレーション（CFD）の
デモンストレーション

II 施設開放・公開講座

◆日時：平成30年3月24日（土） 11時から15時まで

◆会場：新潟工科大学

◆内容：

1. 施設開放 ・風洞実験室（風ラボ）強風体験、流れの可視化実験デモンストレーション
・風・流体工学研究センター 流れのコンピュータ・シミュレーションのデ
モンストレーション
11時～12時、12時30分～13時30分、14時～15時の3回実
施します。
2. 公開講座 ・時間：13時30分から14時
・場所：新潟工科大学 S1大講義室
・演題：「風と私たちの暮らし」 風・流体工学研究センター長 富永禎秀 教授

○お問い合わせ

風・流体工学研究センター 担当：内山・高橋

TEL：0257-22-8110 FAX：0257-22-8123

e-mail：wind-center@niit.ac.jp



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

新潟工科大学 風・流体工学研究センター開設記念
キックオフシンポジウム

高度シミュレーション技術による
地域の「風」
の課題解決と
人材育成

KICK-OFF
SYMPOSIUM

3/23 金

13:30~16:10

新潟工科大学 S1大講義室

参加費
無料

新潟工科大学では、開学以来、国内最大級の大規模風洞実験装置や数値解析技術を用いて、地域の「風」の問題に着目した研究に取り組んできました。その成果は、朱鷺メッセ等の実際の建築物の風環境評価にも役立てられています。このような研究基盤を活かし、「ものづくり」から「まちづくり」までの風の研究に、さらに重点的に取り組む拠点として、風・流体工学研究センターを開設することとなりました。この度、同センターの開設にあわせてキックオフシンポジウムを開催いたします。ぜひご参加ください。

■ PROGRAM

- 1 開会挨拶 新潟工科大学 学長 大川秀雄
- 2 事業説明 風・流体工学研究センター長・教授 富永禎秀
- 3 基調講演 「風と私たちの社会 ～風工学のアプローチ～」 日本大学 教授 野村卓史氏(日本風工学会会長)
- 4 特別講演 ①「建築・都市と風」 新潟大学 教授 赤林伸一氏
②「最近の雪氷災害」 国立研究開発法人防災科学技術研究所
雪氷防災研究センター センター長／気象災害軽減イノベーションセンター 副センター長 上石勲氏
- 5 話題提供 「小型垂直軸風車の開発を通じた地域企業との連携」 長岡技術科学大学 准教授 宮下幸雄氏
- 6 施設見学 ●風洞実験室(風ラボ): 大型風洞による強風体験、流れの可視化実験、ステレオPIV(粒子イメージ流速計測法)のデモンストレーション
●風・流体工学研究センター: 流体数値シミュレーション(CFD)のデモンストレーション

参加申込 WEB、E-mail、FAXのいずれかでお申込みください。

申込締切 3月9日(金) ●定員(150名)となり次第、締め切りとさせていただきます。

WEB <https://www.niit.ac.jp/webform/branding/form.html>

E-mail FAX 裏面をご覧ください。

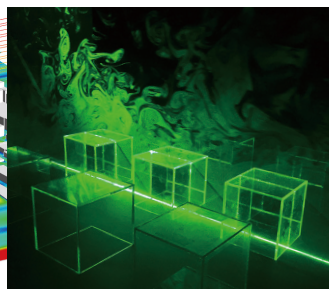
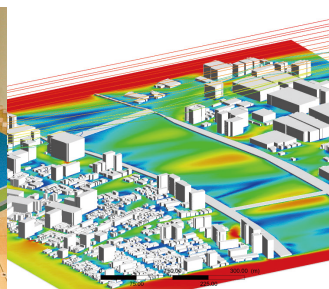
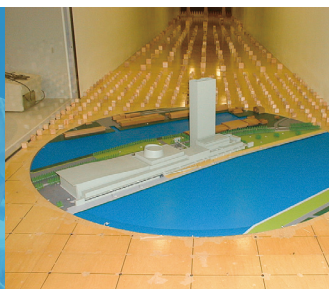


企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

主催／新潟工科大学 風・流体工学研究センター 後援／新潟工科大学産学交流会

高度シミュレーション技術による
地域の「風」
の課題解決と
人材育成



新潟工科大学 風・流体工学研究センター開設記念キックオフシンポジウム

FAX申込用紙

※個人情報につきましては、シンポジウム以外での
利用は一切いたしません。

E-mailでお申込みの方は、
下記項目を wind-center@niit.ac.jp
までお送りください。

■ 氏名 ふりがな

■ 会社名・団体名

■ 住所 〒

■ 電話番号

■ FAX番号

■ Eメールアドレス

FAX送信先

0257-22-8123

● 連絡・問い合わせ先

新潟工科大学 風・流体工学研究センター

TEL 0257-22-8110

FAX 0257-22-8123

E-mail wind-center@niit.ac.jp



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719



会場案内

文部科学省 平成29年度 私立大学研究ブランディング事業

新潟工科大学 風・流体工学研究センター開設記念

施設開放・公開講座

OPEN CAMPUS & OPEN LECTURE

3/24 土

11:00～15:00

新潟工科大学（裏面地図参照）

■ PROGRAM

11時～12時

12時30分～13時30分

14時～15時

施設
開放

風洞実験室（風ラボ） 強風体験、流れの可視化実験デモンストレーション

風・流体工学研究センター 流れのコンピュータ・シミュレーションのデモンストレーション

公開
講座

13時30分～14時

会場／S1大講義室

風・流体工学研究センター長

「風と私たちの暮らし」

富永 禎秀 教授
（プロフィールは裏面参照）

新潟工科大学では、開学以来、国内最大級の大型風洞実験装置や数値解析技術を用いて、地域の「風」の問題に着目した研究に取り組んできました。その成果は、朱鷺メッセや柏崎市民プラザ等の実際の建築物の風環境評価にも役立てられています。このような研究基盤を活かし、「ものづくり」から「まちづくり」までの風の研究に、さらに重点的に取り組む拠点として、風・流体工学研究センターを開設することとなりました。この度、同センターの開設にあわせて施設開放・公開講座を開催することとなりましたので、ぜひともご参加ください。

参加費無料

申し込み不要

主催／新潟工科大学 風・流体工学研究センター 後援／新潟工科大学産学交流会



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719

TEL.0257-22-8110

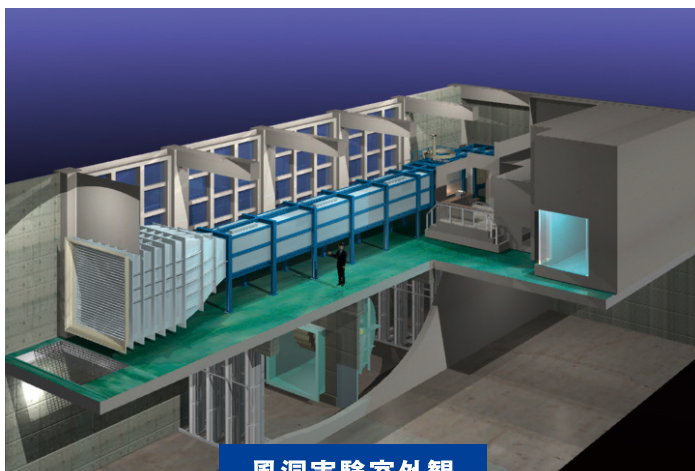
FAX.0257-22-8123

問い合わせ先／風・流体工学研究センター

新潟工科大学 風・流体工学研究センター開設記念 施設開放・公開講座

新潟工科大学 大型境界層風洞

本風洞は、建築物等の模型に実際の市街地に吹く風を模擬した風(最高風速は約25m/s)をあて、建築物周辺の風の流れや強さ、作用する風圧力などを測定するための装置です。1.8m(幅)×1.8m(高さ)×13.0m(長さ)という建築用としては国内でも最大級の規模を持ち、より正確で詳細な測定を行うことができます。



風洞実験室外観



大型風洞内部

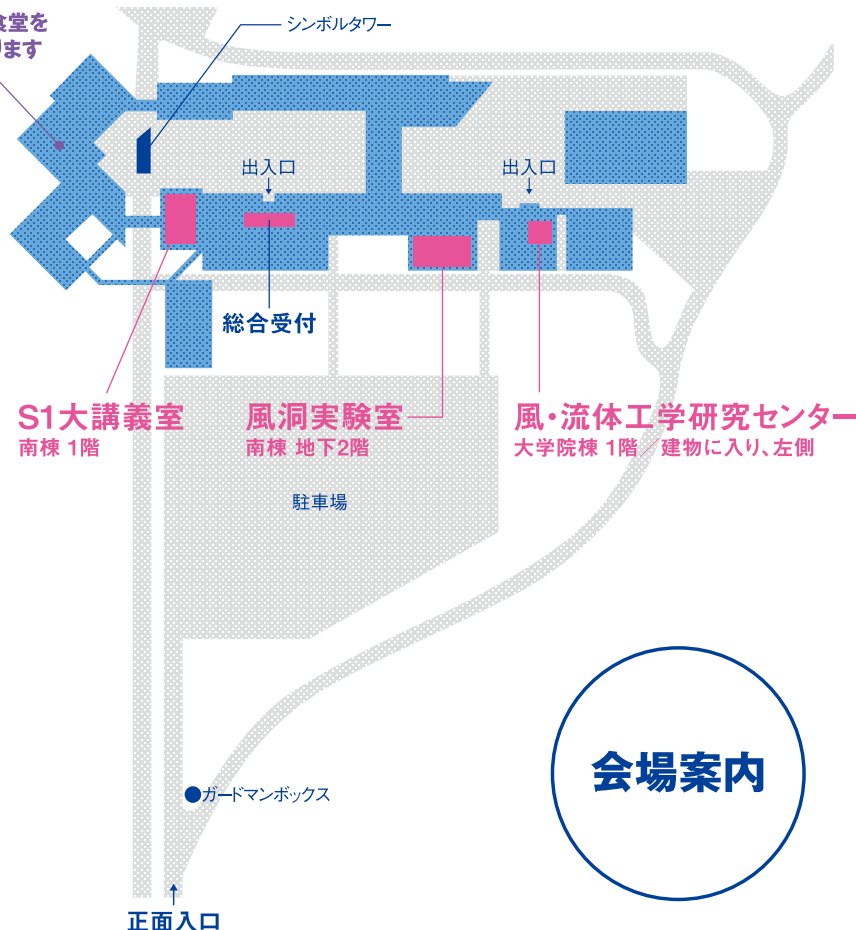


風・流体工学研究センター長
富永 禎秀 教授

■プロフィール

新潟県魚沼市(旧小出町)出身／新潟大学卒業／
東京大学大学院修士・博士課程修了／専門は建築・
都市環境工学、風工学、雪工学／共著に「建築物荷重
指針を活かす設計資料1」「雪と建築」「市街地風環境
予測のための流体数値解析ガイドブック」ほか／日本
建築学会賞(論文)(2017年)、日本風工学会ベストペ
ーパー賞(2012, 2014年)、Building and Environment
Best Paper Award(2010年)、日本雪工学会学術賞
(2009年)

当日は学生食堂を
営業しております



会場案内